

目標の柱	2	就労対策・企業支援と戦略的な取り組みによる町民所得の向上
基本目標(政策)	2-3	町民所得の向上を図ります(産業振興)
基本計画(施策)	2-3-1	・農業分野での挑戦

主管課・係	課	農林課	係	農政係
		農工観光課		商工振興係
関係課・係		農林課		農林土木係
		農林課		林政係
		各総合支所振興課		農林建設係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか? ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①農業が盛んになり、農業のみで生活する若者が増えている。 ②地産地消が推進され、農業製品のブランド化が推進される魅力的な産業になっている。 ③農業を志す人が就農しやすい環境が整備されている。</p>																																								
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか?</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか?箇条書きで記載してください。</p> <p>①農業を専業とする若者の増加。 ②重点振興作物の栽培面積の増加。 ③農業収入の増加。</p>																																								
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 新規就農者数(累計)</td> <td>人</td> <td>69</td> <td>72</td> <td>73</td> <td>75</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>B 認定農業者数</td> <td>人</td> <td>116</td> <td>140</td> <td>110</td> <td>140</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>C 農業収入平均額※</td> <td>千円</td> <td>2,499</td> <td>2,700</td> <td>2,927</td> <td>2,700</td> <td>2,700</td> </tr> <tr> <td>D 重点振興作物栽培面積</td> <td>ha</td> <td>59.6</td> <td>70.0</td> <td>56.6</td> <td>74.8</td> <td>74.8</td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	A 新規就農者数(累計)	人	69	72	73	75	75	B 認定農業者数	人	116	140	110	140	140	C 農業収入平均額※	千円	2,499	2,700	2,927	2,700	2,700	D 重点振興作物栽培面積	ha	59.6	70.0	56.6	74.8	74.8	
			単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度																																	
	実績値	目標値		実績値	目標値	目標値																																			
A 新規就農者数(累計)	人	69	72	73	75	75																																			
B 認定農業者数	人	116	140	110	140	140																																			
C 農業収入平均額※	千円	2,499	2,700	2,927	2,700	2,700																																			
D 重点振興作物栽培面積	ha	59.6	70.0	56.6	74.8	74.8																																			
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか?</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ② 上回った</td> <td>町で行っている新規就農者への支援制度が浸透し、南郷トマトでの就農者が4人増えた。</td> <td>① 既に目標クリア</td> <td>令和3年では5人が就農した。</td> </tr> <tr> <td>B ④ 下回った</td> <td>5年ごとに再認定の申請が必要だが、高齢等を理由に再認定の申請をしない農家が増えている。</td> <td>④ 達成は困難</td> <td>再認定の申請をしない農家が多いため。</td> </tr> <tr> <td>C ② 上回った</td> <td>農産物の個人消費が好調だった。</td> <td>② このままで達成可能</td> <td>天候や新型コロナウイルス感染症の影響等がなく、収量や市場価格が安定すれば達成は可能である。</td> </tr> <tr> <td>D ④ 下回った</td> <td>高齢等を理由に離農する農家が増えている。</td> <td>④ 達成は困難</td> <td>新規就農・新規栽培者はあるものの目標達成できる栽培面積増加にはなっていない。</td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ② 上回った	町で行っている新規就農者への支援制度が浸透し、南郷トマトでの就農者が4人増えた。	① 既に目標クリア	令和3年では5人が就農した。	B ④ 下回った	5年ごとに再認定の申請が必要だが、高齢等を理由に再認定の申請をしない農家が増えている。	④ 達成は困難	再認定の申請をしない農家が多いため。	C ② 上回った	農産物の個人消費が好調だった。	② このままで達成可能	天候や新型コロナウイルス感染症の影響等がなく、収量や市場価格が安定すれば達成は可能である。	D ④ 下回った	高齢等を理由に離農する農家が増えている。	④ 達成は困難	新規就農・新規栽培者はあるものの目標達成できる栽培面積増加にはなっていない。	<p>5 令和3年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>																				
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																						
A ② 上回った	町で行っている新規就農者への支援制度が浸透し、南郷トマトでの就農者が4人増えた。	① 既に目標クリア	令和3年では5人が就農した。																																						
B ④ 下回った	5年ごとに再認定の申請が必要だが、高齢等を理由に再認定の申請をしない農家が増えている。	④ 達成は困難	再認定の申請をしない農家が多いため。																																						
C ② 上回った	農産物の個人消費が好調だった。	② このままで達成可能	天候や新型コロナウイルス感染症の影響等がなく、収量や市場価格が安定すれば達成は可能である。																																						
D ④ 下回った	高齢等を理由に離農する農家が増えている。	④ 達成は困難	新規就農・新規栽培者はあるものの目標達成できる栽培面積増加にはなっていない。																																						
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者への研修及び就農後経営が安定するまでの経営支援の実施。 ・重点振興作物産地拡大のための種苗や資材等の購入経費補助の実施。 ・有害鳥獣による農作物被害軽減のための対策の実施。 ・生産性向上のための基盤整備事業等の実施。 																																								
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興計画策定にあつては各生産部会代表者や農業法人などから意見を聴取し、計画に反映することとしている。 ・各生産部会の総会や役員会に参加し、町への要望などを聴取している。 ・毎年3月に集落座談会を開し、町の農業施策の説明や要望などを聴取している。 																																								

【施策の振り返り】

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者数が増加した。 ・農業収入平均額が増加した。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢等の理由により離農する農家も増えており、認定農業者数、生産面積が減少している。 ・有害鳥獣被害が拡大しており、さらに有効な対策が求められている。 ・異常気象や新型コロナウイルス感染症の影響など農産物の市場価格は常に変動しており、農業所得が安定しない。
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>外部委託は困難と思われる。</p>

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の確保が最重要な課題であるため継続して新規就農者への支援と、地域の中心経営体である認定農業者への支援を重点的に実施する。 ・所得向上対策として、重点振興作物を中心に高収益な作物導入の支援を実施していく。 ・有害鳥獣による農作物被害軽減のため、有効な対策を検討する。 ・生産性向上のための基盤整備事業等を実施する。
-------------------------------------	---

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和3年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和元年度決算額	令和2年度決算額	令和3年度予算額	令和4年度予算額
01	経営所得安定対策等推進事業【事業名変更】	農林課	目的	経営所得安定対策の推進及び加入促進を図る。		
			概要	国の経営所得安定対策の推進を担う南会津町農業再生協議会の経費を助成する。		
			成果	経営所得安定対策交付金の申請受付、確認事務等を遂行し、対象者へ確実な交付金の交付により農業経営の安定が図られた。		
		農政係	問題	特になし。		
			対策	①継続 国事業であり継続して実施する。		
			事業費	4,214	5,455	4,596
02	種苗等支援事業	農林課	目的	重点振興作物の産地づくりを推進するため、栽培面積の拡大を図る。		
			概要	町の重点振興作物の産地づくりを推進するため、新植及び改植を行う意欲のある農家等に対して、苗等の購入経費を助成する。		
			成果	重点振興作物の産地維持が図られた。		
		農政係	問題	高齢等を理由に離農者が増加し、重点振興作物栽培面積が減少している。		
			対策	①継続 新たな生産者の掘起しと重点振興作物の産地の維持・拡大を図る。		
			事業費	9,969	8,698	9,174
03	農業用資材支援事業	農林課	目的	重点振興作物の産地づくりを推進するとともに、品質・生産性の向上を図る。		
			概要	町の重点振興作物栽培に係るハウス被覆用ビニールの購入経費を助成する。		
			成果	重点振興作物の産地維持・品質の向上が図られた。		
		農政係	問題	高齢等を理由に離農者が増加し、重点振興作物栽培面積が減少している。		
			対策	①継続 新たな生産者の掘起しと重点振興作物の産地の維持・拡大及び品質の向上を図る。		
			事業費	1,168	1,706	2,128
04	産地生産力強化総合対策事業(旧実り豊かなふくしまの産地整備事業)	農林課	目的	園芸品目の生産拡大及び土地利用作物の生産効率化を図る。		
			概要	園芸施設、農業用機械等導入経費を助成する。		
			成果	園芸設備等購入経費を補助し、産地維持・拡大及び生産効率化が図られた。		
		農政係	問題	高齢等を理由に離農者が増加し、園芸作物栽培面積が減少している。		
			対策	①継続 県事業を活用し、産地の維持・拡大及び効率化を図る。		
			事業費	5,570	3,810	1,946
05	中山間地域等直接支払交付金	農林課	目的	国土の保全、水源かん養や保健休養など多面的機能の維持、耕作放棄地発生の防止を図る。		
			概要	傾斜等により農業生産条件の不利な地域の国土の保全、多面的機能の確保、耕作放棄地発生の防止などに取組む地区に対し補助金を交付する。		
			成果	17件の協定集落に対し交付金を支給し、耕作放棄地の発生を防止することができた。		
		農政係	問題	本事業に取組めない地区への支援の仕方。		
			対策	①継続 国事業を活用し、条件不利地の地域農業振興施策を図る。		
			事業費	21,523	16,202	16,202
06	新規就農者支援事業	農林課	目的	就農意欲を喚起するため、研修期間中における支援と就農後の定着を図る。		
			概要	国事業の要件を満たさない就農希望者で、重点振興作物を約20a以上栽培する農家に対して、研修業務補助金・初度経営支援補助金を交付する。		
			成果	研修期間中の生活支援及び就農直後の経営安定に寄与した。		
		農政係	問題	南郷トマト以外の作物での就農者がいない。		
			対策	①継続 新規就農者の確保するとともに、重点振興作物の産地維持を図る。		
			事業費	5,629	4,409	4,511
07	農業次世代人材投資事業【事業名変更】	農林課	目的	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。		
			概要	国事業であり、平成28年4月以降に新規就農した農業者(独立・自営就農時の年齢が原則50歳未満)に対して、農業次世代人材投資資金を交付する。		
			成果	新規就農者の確保・就農初期の経営安定に寄与した。		
		農政係	問題	交付期間内に安定した経営を確立できない就農者もいるため、農業経営を指導する。		
			対策	①継続 国事業を活用し、新規就農者の確保・定着を図る。		
			事業費	32,696	22,106	25,500
08	多面的機能支払交付金	農林課	目的	地域ぐるみで農業用施設(排水路、農道、頭首工、ため池等)の保全管理を行い、施設の長寿命化を図る。		
			概要	地域ぐるみで行う農用地、水路、農道等の適切な管理及び農村環境保全活動に対し、補助金を交付する。		
			成果	地域活動への支援により、地区での組織化と農地、農業用施設の保全及び農村環境の保全が図られた。(田島14組織、館岩1組織、伊南5組織、南郷6組織の計26組織で実施。)		
		農林土木係	問題	本事業に取組めない地区への支援の仕方。		
			対策	①継続 単独で取組めない地区は、隣接地区への共同取組等を検討する。		
			事業費	50,019	45,265	45,109

09	県営事業負担金 (農地整備)	農林課	目的	農業生産基盤及び環境基盤の整備を通じて、中山間地域の立地条件をいかした農業と活力ある農村づくりの促進を図る。			
			概要	県営中山間地域総合整備事業(西部地区)及び県営ほ場整備事業(田部地区)に対する町負担金により事業を実施する。			
			成果	農家の労働力や維持管理の負担を軽減し、農村環境の改善による定住促進、将来的な農村の保全が図られた。			
		農林土木係	問題	未整備箇所の対応。			
			対策	①継続 他事業による整備を検討する。			
			事業費	33,750	61,250	70,125	60,000
10	農地耕作条件改善 事業	農林課	目的	食料自給率の向上、農地集積を加速し、意欲ある農業者が農業を継続できる環境整備を図る。			
			概要	整備が必要な水路及び農道の新設、修繕工事を実施した。			
			成果	農業競争力が強化され、生産効率の向上が図られた。			
		農林土木係	問題	未整備地区の対応。			
			対策	①継続 他事業による整備を検討する。			
			事業費	39,172	62,118	0	0
11	集落維持発展事業	農林課	目的	地域住民が自主的かつ共同で取組む水路・農地等の農地農業用施設の維持修繕に対する支援を図る。			
			概要	水路及び取水堰の土砂上げを3集落(滝原地区・大原地区・水根沢地区)及び水路の修繕を2集落(大新田地区・東地区)、獣害対策を2集落(大豆渡地区・たのせ地区)で実施された活動に対し補助金を交付する。			
			成果	農地等が保全され、農業経営における維持管理労力も軽減されたことから、集落の維持発展の支援が図られた。			
		農林土木係	問題	基金を財源としているため、基金が尽きた後の財源確保。			
			対策	①継続 多面的機能支払交付金事業への取組みを支援する。			
			事業費	355	2,135	2,900	2,500
12	有害鳥獣被害対策 事業	農林課	目的	耕作者等が行う被害防止対策への支援及び有害鳥獣実施隊による鳥獣の捕獲やパトロールを行い、農作物等の被害軽減を図る。			
			概要	耕作者及び地区で取組む対策費用への支援し、「ニホンザル・イノシシ・ニホンジカ」を対象に捕獲報奨金を交付する。			
			成果	農業の競争力強化のために不可欠な農業構造の改革と生産コストの削減を実現することができた。			
		林政係	問題	担い手がいないなどの理由により当事業が活用できない地区がある。			
			対策	①継続 集落ぐるみの耕作エリア防除と有害鳥獣個体数調整、生息環境整備を組合わせて対策していく。			
			事業費	20,471	36,053	42,287	43,000
13	機構集積協力金交 付事業	農林課	目的	農地の有効利用や農業経営の効率化を図る担い手に対し、農地利用の集積・集約化を進める。			
			概要	農地中間管理機構の制度を活用した賃貸借契約を締結することにより、機構集積協力金を交付金を交付する。(予算は12月補正で対応)			
			成果	農地中間管理機構を通じた担い手への農地集積が図られた。			
		農政係	問題	未実施地区の対応。			
			対策	①継続 担い手への農地の集積・集約を図るための取組みを支援する。			
			事業費	4,753	4,212	0	0
14	強い農業・担い手 づくり総合支援事 業	農林課	目的	地域の中心経営体の育成・確保を図る。			
			概要	高性能農業機械・施設等の導入経費を助成する。			
			成果	中心経営体の規模拡大や経費削減が図られた。			
		農政係	問題	特になし。			
			対策	①継続 国事業を活用し、特に稲作やそばなど高性能機械の導入を希望する担い手を支援する。			
			事業費	0	7,962	7,563	7,563
15	強い野菜産地拡大 特別対策事業	農林課	目的	アスパラガス・トマトの産地拡大を図る。			
			概要	パイプハウス等導入経費を助成する。			
			成果	栽培面積を増加する農家の施設導入に係る負担軽減が図られ、産地維持・拡大につながった。			
		農政係	問題	特になし。			
			対策	①継続 県事業を活用し、アスパラガス・トマトの施設導入を希望する担い手を支援する。			
			事業費	0	7,121	8,676	0
16			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
事業費の合計(千円)			229,289	288,502	240,717	222,229	